

# 国語科 学習指導案

1. 学年・組 小学校第1学年
2. 単元名 なにに 見えるかな(あたらしいこくご1年下)
3. 単元目標

- 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。[知識及び技能] (1) ア
- 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。  
[思考力、判断力、表現力等] A (1) オ
- 進んで話を楽しくつなぎながら、学習の見通しを持って質問したり応答したりして、ペアやグループで話し合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

4. 言語活動  
質問したり応答したりしながら、ペアやグループで話し合う。

## 5. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1) ア	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(◎A (1) オ)	進んで話を楽しくつなぎながら、学習の見通しを持って質問したり応答したりして、ペアやグループで話し合おうとしている。

6. 単元の指導と評価の計画 (全6時間) ◎記録に残す評価 ○指導に生かす評価

時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
1	○学習の見通しをもつ。 ・ペアでなにに見えるかクイズをする。 ・うまく話をつなぐためには体の向きや目を合わせるなどの聞き方が必要だと気付く。 ・話を楽しくつなぐためのコツを考えていくという、単元の見通しを持つ。	○		○	<b>【知】</b> ・聞き方によって、話しやすさが変わること気付く。(発言・行動観察) <b>【主】</b> ・楽しく話をつなぐという学習の見通しを持って取り組もうとしている。(行動観察)
2	○自分の作品について伝えたいことを考え、「おはなし名人」になるにはどんな伝え方・聞き方がいいのかめあてをもつ。 ・自分の図工作品をもとに、どこが何に見えるか、何をしているところかをワークシートにまとめる。 ・話す人だけが意見を言うだけでは話がつながらず、聞いている人が相手の話を受けてあいづちや質問をする必要があることに気付く。		○	○	<b>【思】</b> ・写真の質問と答えをワークシートに書き出している。(ワークシート・発言) <b>【主】</b> ・話をつなぐために必要なコツを使って、楽しく話をつなごうとしている。(発言・行動観察)
3	○「おはなし名人」になるための練習をする。 ・質問と答えのやり取りの形を知る。 ・ペアで質問と答えのやり取りを練習する。		○	○	<b>【思】</b> ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで話がつながっていたかを振り返る。</li> </ul>				<p>心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(ワークシート・発言)</p> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話をつなぐために必要なコツを使って、楽しく話をつなごうとしている。(発言・行動観察)</li> </ul>
4	<p>○「ききかた名人」になるにはどんな答え方をしたらいいのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うなずきやあいづちの必要性に気が付く。</li> <li>・「うれしくなるへんじ」の言葉集めを行う。</li> <li>・あいづちと返事を意識しながらペアで話し合う。</li> <li>・感想を振り返り、あいづちと返事のよさについて交流する。</li> </ul>	○		○	<p><b>【知】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(発言)</li> </ul> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話をつなぐために必要なコツを使って、楽しく話をつなごうとしている。(発言・行動観察)</li> </ul>
5 本 時	<p>○自分の作品について、「なにに見えるかな おはなしタイム」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの名人のコツを使って、ペアで話し合う。</li> </ul> <p>①ききかた名人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいてをみてきく</li> <li>・しつもん</li> <li>・うなずきやあいづち、へんじ</li> </ul> <p>②はなしかた名人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいてをみてはなす</li> </ul> <p>・良かった言葉や態度を振り返る。</p>		◎		<p><b>【思】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の話に関心を持ち、相手の言葉を受けて話をつないでいる。A</li> </ul> <p>(1) オ (行動観察・ワークシート)</p> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役立つ言葉やしぐさを確かめながら、話を楽しくつないで話し合おうとしている。(発言・行動観察・ワークシート)</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を楽しくつなぐコツを、ワークシートにまとめる。</li> <li>・話を楽しくつなぐコツを、クラスで共有する。</li> <li>・単元の学習を振り返り、自分の成長に気付く。</li> </ul>	◎		◎	<p><b>【知】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話をつなぐために質問やしぐさなどのコツがあることに気が付いている。(行動観察・ワークシート)</li> </ul> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた話をつなぐコツを、自分の言葉で伝えようとしている。(発言・行動観察・ワークシート)</li> </ul>

## 7. 本時について (本時 5/6時)

### (1) 目標

はなしをつなぐコツを活用して、楽しく話し合うことができる。

### (2) 本時の評価規準

互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 A (1) オ

(3) UDの視点

【視覚化】出てきた意見を観点ごとに板書し、児童の思考のヒントにする。

【スモールステップ化】話し合いが停滞しているグループには、相手の話で大事だと思ったことを繰り返したり、笑顔でうなずいたりするだけでもするように促す。

(4) 展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
2分	1. 本時のめあてを確かめる。		
	「おはなしのこつ」をつかって、たのしく はなしあおう。		
8分	2. 見本動画を見てこれまでの授業を振り返り、『はなしをたのしくつなぐこつ』を確認する。 ①はなしかた名人のこつ ②ききかた名人のこつ	・用意した動画を見せ、これまでの授業を振り返らせる。	【思】 ・話し手の話に関心を持ち、相手の言葉を受けて話をつないでいる。A(1)オ(行動観察・ワークシート)
10分	3. グループに分かれて話し合う。 ・列ごとに話し手と聞き手に分かれ、交互に話す。 ・ペアで話し終わったら、相手を変えて繰り返す。	・前時までに使用した質問やうけとめの言葉の短冊を黒板に貼り、児童の思考のヒントにする。 ・話し合いの進め方を提示する。 ・班を前半と後半で分け、話し合わせる。 ・机間巡視を行い、各グループの交流の様子を確認する。	
5分	・上手な人にお手本をしてもらい、良いところを全体で確認する。	・話し合いが停滞しているグループや、困っている児童には、相手の言葉を繰り返したり、思ったことを言ったりするよう促す。	
10分	・再度、ペアで練習する。		
10分	5. 学習を振り返る。 ・良かった言葉や態度を振り返る。	・振り返りに書く観点を示す。 じぶんができるようになったこと ともだちのよかったことばやたいどうまくできたこと がんばったこと むずかしかったこと きがついたこと	

(5) 本時における具体的な子どもの状況 (※本時の評価規準に関わる場面において)

おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C) への支援
「話を楽しくつなぐこつ」を使って、相手の話を聞いて簡単な返しや関連した発言ができている。	黒板にこれまでの「話を楽しくつなぐこつ」を掲示し、見本に沿って相手と話のやりとりができるようにする。